

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	試験検査に関する調査研究			事業番号	011-256
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	衛生研究所 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	昭和 39 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	平成9年3月14日 厚生省発健政第26号厚生事務次官通知「地方衛生研究所の機能強化について」		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	衛生研究所
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	ウイルス検査、細菌検査、食品検査、環境検査の各事業に関連する15分野
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	上記対象分野について地域保健対策の効果的な推進、公衆衛生の向上及び増進、科学的かつ技術的中核として関係行政部局と緊密な連携をとり、調査研究成果を還元することにより、市民の安全・安心な生活を守る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	最新の検査方法の検討や検査技術を応用する課題に関して、当所単独での調査研究、あるいは他の地方衛生研究所、国立感染症研究所をはじめとした国立研究所等と連携をとり、共同で調査研究を実施する。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
11 調査研究還元数 (年報掲載、発表・報告等)	件	目標値	12	12	12	12
		実績値	21	12		
		達成率	175%	100%		
当該指標を選定した理由	当該指標は本事務事業の実施状況を直接的に表すものであるため					
目標値の設定根拠・算出方法	各検査担当につき1件の年報掲載、2件の発表・報告等を実施する。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 調査研究実施数	件	目標値	16	16	16	
		実績値	20	12		
		達成率	125%	75%		
当該指標を選定した理由	当該指標は本事務事業の成果を上げるための有意な手段であるため					
目標値の設定根拠・算出方法	検査担当正職員1名につき1件の調査研究を実施する。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	試験検査に関する調査研究	事業番号	011-256
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	437	437	437	437	437
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	437	437	437	437	437
14 人件費 (b)	6,910	6,030	6,740	6,560	6,560
15 年間経費(c)=(a)+(b)	7,347	6,467	7,177	6,997	6,997

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	需用費	R2	決算	437	437	R2	決算		
		R3	予算	437	437	R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 調査研究実施数	件	20	12
② 上記①にかかる年間経費	千円	6,467	6,997
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	323,350	
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 新型コロナウイルス検査需要の増加に伴い当所の業務量は大幅に増加したが、感染症のまん延防止、健康被害の拡大防止には当該事業は必須であるため、令和2年度は一部の項目を重点的に実施するなど、事業の適正化を行った。そのため調査研究実施数は減少したが、資源投入は最小限であり、継続して効率的に事業を実施できている。また調査研究発表数についても減少したが、これは新型コロナウイルスにより学会、研究会等の大半が中止となったためであり、紙上発表や年報などを利用し可能な限り成果を還元した。全体を通して、資源投入は最小限であり、高い費用対効果を維持している。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 衛生研究所において実施する調査研究は、最新の知見を用いた新規検査法の探索から、実態調査や精度管理まで多岐に実施しているが、これらの最終目標はいずれも市民の安全・安心を確保することとしており、事業目的の達成に対して大きく寄与しているものである。今後も感染症や食中毒、水質事故や農薬汚染など突発的な事象に対応するため、および日々の試験検査に精度よく結果を発出するため、最小の経費で最大の効果が得られる調査研究の実施に取り組む。